

地域に寄り添い、街とともに考える、コミュニケーション誌

JFM だより

Vol. 42

June
2022

山口県
防府市

音楽のまちを支え、
地域に愛されるシンボル



INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 地域のためにがんばる公営競技
- 07 特別対談 JFM×JWA
- 11 JFM TOPICS
- 15 利用してみよう! 地方支援業務
- 19 みんな気になる、お金のこと
- 21 わたしのシゴト わたしのジモト
- 22 機構からのお知らせ
- 23 私たちもJFM債買っています!!
- 23 編集後記



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

JFMの貸付事業

JFMでは、長期かつ低利な資金を地方公共団体に融資することで、地方公共団体の財政の健全な運営及び住民福祉の増進に貢献しています。

詳細はp.03



HOFUSHI KOUKAIDO

三友サルビアホール 防府市公会堂

瀬戸内海に面し、古くから周防国の国府として栄えてきた歴史ある街、山口県防府市。

“音楽のまち”としても知られるこの街のシンボル「防府市公会堂」が、大規模改修工事を経て世代を超えて愛される建造物へと再生しました。





ホワイエ* 外観だけではなく内装も建設当初のモダニズム建築の意匠性・雰囲気が引き継がれています。



大ホール* 改修により残響時間が延び、音響性能が向上。出演者からも「音が良くなった」というご意見をいただいています。



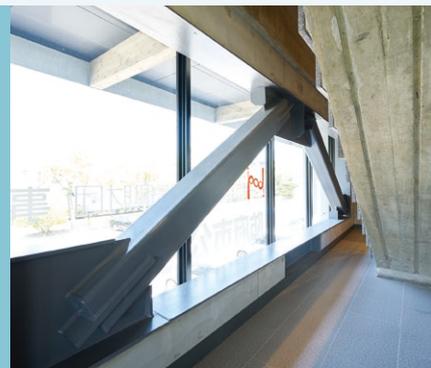
親子鑑賞席* ホールの客席後方に親子鑑賞席を新設。小さなお子様連れのお客様も安心してご来場いただけます。



トイレ* 改修前は女性のトイレ行列ができていたことから、女性トイレの数を倍増。車椅子の方などにも対応する多機能トイレも新設しました。



4号室* 大人数でご利用いただける4号室(定員54名)には、ピアノも設置してあります。



耐震補強* 耐震性能が向上し、より安全・安心な施設になりました。



エレベーター* 改修工事によりエレベーターを新設しました。



防府市公会堂では年間を通じて音楽、演劇、舞踏などさまざまな公演が行われています。毎年開催している「防府音楽祭」「市民文化祭」など、市民参加型のイベントなども盛んです。

市民が集う地域文化交流ステージ

防府市公会堂は「市民が集う地域文化交流ステージ」を基本コンセプトとして、昭和35年に開館しました。以降、地域のシンボルとして長きにわたり親しまれてきましたが、築60年を経過する中で老朽化が進み、耐震性能やバリアフリーの観点で課題を抱えていました。こうした課題を解決するため、平成30年1月より大規模改修工事を実施し、約2年間の休館期間を経て令和2年10月にリニューアルオープン。令和4年4月には、市内の民間企業がネーミングライツパートナーとなり、市の花であるサルビアを冠した「三友サルビアホール」という愛称が名付けられました。

同施設の最大の特徴は、固定席1,381席、車椅子スペース7席を備えた市内最大のホールです。有名演奏家による演奏会などを開催し、県内の舞台芸術をリードするとともに、地域の文化交流ステージとしての役割を担っています。また、大ホール以外にも大きささまざまな部屋があり、会議やサークル活動、楽器の個人練習など、幅広い用途に利用されています。

INTERVIEW

音楽のまちを支え、地域に愛されるシンボル

大規模改修工事を経て、令和2年10月にリニューアルオープンした防府市公会堂。施設を所管する防府市 地域交流部文化・スポーツ課の伊藤秀和さんに改修のコンセプトや今後の展望などを伺いました。



防府市 地域交流部文化・スポーツ課 芸術文化係
伊藤 秀和 係長

意匠性は継承し、今の時代に寄り添う建築物へ

防府市公会堂は、日本の音響設計の第一人者である故・佐藤武夫氏により約60年前に設計されました。モダニズム建築を特徴づける塔やピロティ(壁がなく柱だけで構成された吹き抜けの空間)など、当時から意匠的に評価の高い建物であり、防府市民にとっても思い入れのある施設でした。

改修工事においては、建設当初の意匠性をできるだけそのまま残しつつ、耐震性能や防災性能を高め、今の時代に寄り添うユニバーサルデザイン建築へと再生することをコンセプトとしました。そうした点が評価され、改修後は公益財団法人日本デザイン振興会主催「2020年度グッドデザイン賞」や公益社団法人日本建築家協会「JIA25周年賞」といった建築分野で名高い賞を受賞しています。

音楽をテーマとしたまちづくりを推進

改修工事の費用は、「公共施設等適正管理推進事業債」及び「緊急防災・減災事業債」を財源として活用しました。JFMの融資を活用した理由は、長期的・低金利に利用でき、財政運営上の負担を軽減できるからです。組織としての信頼性が高いことも魅力に感じました。防府市は音楽文化とともに歩んできた街です。小中学校、高校では吹奏楽部が盛んで、全国大会出場の常連校もあります。令和3年4月には防府市出身で著名なチェロ奏者である田中雅弘氏を「音楽のまち創造プロデューサー」として迎え、音楽をテーマにしたまちづくりを進めています。

まずは、コロナ禍において落ち込んだ各地からの来客を取り戻すため、防府市公会堂を舞台に魅力的なイベントを開催するとともに、優れた音響性能や利便性の向上をアピールし、これまで以上に多くの方にご利用いただけるように努めていきたいと思えます。出演者、お客様、関係スタッフ全員の記憶に残るステージを開催し、「音楽のまち防府」のシンボルとしてこれまで以上に地域の方々に愛される施設を目指していきます。



改修工事前

改修工事後

* 防府市公会堂の利用状況

令和3年度の来場者数は31,920人。改修後の利用者アンケートでは「使いやすい」が「普通」「使いにくい」を大幅に上回り、多くの方から好意的なご意見をいただいています。

本件で活用いただいた制度

公共施設等 適正管理推進事業

公共施設等総合管理計画に基づいて実施する事業で、既存の公共施設の集約化・複合化・長寿命化・立地適正化等を実施するものを対象としています。

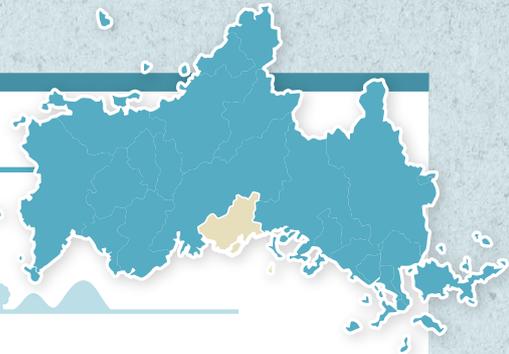
JFMスタッフ Message

防府市公会堂の改修にあたりご活用いただいた公共施設等適正管理推進事業債につきましては、令和3年度、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額793億円の貸付けを行いました。JFMでは、借入条件の検討をサポートするセルフチェックシートや償還年次表シミュレーションソフトの活用促進、借入手続の効率化等、機構資金の活用しやすさを高める環境整備を図るとともに、相談・助言を実施しています。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各県域担当までご相談ください。よろしくお願いたします。



融資部融資課 山口県担当
興石 大地

山口県防府市の まちづくり



市の総合計画に基づいたまちづくりを推進しています。

防府市では令和3年3月に第5次防府市総合計画「輝き!ほうふプラン」を策定し、5ヶ年計画で市民と行政が一体となったまちづくりを推進しています。同プランでは、①安全・安心を第一にしたまちづくり、②未来を拓く子どもの育成、③健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり、④活力ある中心市街地の形成、⑤強みを活かした産業力の強化、⑥恵まれた資源を活かした交流拡大の6つを重点プロジェクトと位置付け、「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向けた取り組みを進めています。

行政 Pick Up !

小学校新入生通学用かばん支給事業

市内の小学校へ入学する新1年生全員に、ランドセルの代わりになる軽くて安全、コンパクトな通学用かばんを支給する事業を令和5年度より実施する計画です。市の未来を拓く子どもたちの安全・安心な通学を支援します。



写真はイメージ

庁舎探訪

防府市役所の庁舎を訪問しました。職員の方々の業務の様子などをレポートします。



防府市では現在、防災拠点機能の強化と市民サービスの向上を目指し、庁舎の建て替えを進めています。新庁舎は令和6年度中の供用開始を予定しています。



新庁舎建設に向け、職員の方々の雰囲気も活気に満ちています。



防府市 総務部 財政課の皆さん



山口県の瀬戸内海側中央部に位置する防府市。飛行機、鉄道、高速道路などの交通アクセスが良い一方、豊かで美しい自然も自慢です。日本最古の天満宮と言われる防府天満宮をはじめ、多彩な歴史・文化・観光資源にも恵まれています。



[人口]

115,225 人



[世帯数]

57,377 世帯



[面積]

189.37 km²

(令和4年5月末日現在)



日本最古の天満宮
「防府天満宮」



一大スポーツイベント
「防府読売マラソン」



子どもたちに人気の
「メパル公園」



防府観光マスコットキャラクター
「ぶっちゃん」